

[11] 発明発見とアイデア・・・新知識によるイノベーションが世に受け入れられるかどうかは賭けである。オッズは分からない。隠されたままである。

①発明発見の信頼性

発明発見、とくに科学上の新知識は、イノベーションの機会として、信頼性が高いわけでも、成功の確率が大きいわけでもない。新知識に基づくイノベーションは目立ち、重要ではあっても、信頼性は低く、成果は予測しがたい。

②新知識によるイノベーションには戦略が必要

新知識によるイノベーションを成功させるには、戦略が必要である。それは反響を呼び、人を引き付けるがゆえに、スタートを誤ってはならない。チャンスは一度しかない。他のイノベーションでは成功しても長い間放っておいてもらえる。新知識によるイノベーションではそうはいかない。多くの者が寄って来る。一度つまずくだけで、押しつぶされる。

③失敗の原因は起業家自身にある

新知識によるイノベーションが失敗するのは、起業家自身に原因がある。高度な知識以外のもの、とくに専門領域以外のことに関心をもたない。顧客にとっての価値よりも、技術的な高度さを価値とする。20世紀の起業家というよりも、19世紀の発明家のままである。

④爆発から開放期、整理期へ

今にもイノベーションが起こりそうでながら、何も起こらないという期間が長期にわたって続く。そして突然、爆発が起こる。数年にわたる開放期が始まり、興奮と乱立が見られ、脚光があてられる。五年後には整理期が始まり、わずかだけが生き残る。ブームの後では、新規参入は事実上不可能となる。

⑤伸るか反るかのハイテク

靴墨メーカーが十億ドル企業に育つことは期待されない。健全経営の同族会社で終わることを失敗とはしない。ところがハイテクは、「中ぐらいの成功には価値がない」という伸るか反るかの勝負である。それゆえにこそ、ハイテクのイノベーションには大きなリスクが伴う。

⑥名声まで手に入る

新知識によるイノベーションを行う者は、多くのことを要求される。直面するリスクが異質である。だがリスクが大きければ、それだけ報酬も大きい。他のイノベーションでも、富を手に入れることはできる。しかし、新知識によるイノベーションでは、名声まで手に入れることができる。

⑦アイデアはリスクが大きい

アイデアは、イノベーションの機会としてはリスクが大きい。成功する確率は最も小さく、失敗する確率は最も大きい。この種のイノベーションによる特許のうち、開発費や特許関連費に見合うだけ稼いでいるものは、百に一つもない。使った費用を上回る金を稼ぐものは、五百に一つである。

⑧野心と創意を代表するもの

アイデアによるイノベーションは、いわばイノベーションと起業家精神の原理と方法の体系における付録である。しかしそれは、高く評価され、報いられなければならない。それは、社会が必要とする資質、すなわち行動力、野心、創意を代表する。